土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　本谷地区　測量地質調査設計業務委託（急傾斜地崩壊対策・交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　その他 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.2	**調査位置**	広島県庄原市口和町金田			**北緯**	34° 52′ 3.1484″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2022年 11月 1日 ～ 2022年 11月 2日	**東経**	132° 54′ 11.2986″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 234.60m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 34°
総削孔長	7.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦D1-C
							エンジン ヤンマーNDF-13　**ポンプ** 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	233.00	1.60		シルト質砂		黒灰	rd2			深度0.90mまで，木根多く含む黒灰の有機質土。 深度0.90m以深，細砂主体でシルト分少量含有。	
2 3 4	230.10	4.50		強風化流紋岩		黄灰				流紋岩強風化土（礫質土）。 風化著しく土砂状～礫状で採取。 流紋岩の組織をわずかに残す程度。	11/02 3.80
5 6 7	227.60	7.00		風化流紋岩		暗青灰				流紋岩。軟岩I。CL級。 石英や長石の斑晶が見られる。 コアは主に礫状で採取される。 全体的に亀裂が多く，亀裂面は風化し褐色となり，土砂が流入している。 深度6.80m付近，熱水作用を受け概ね30°方向に白色粘土化している。 全体的にハンマー打撃で鈍い金属音はするものの容易に砕ける程度。	
8 9											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
5	1.15	2	2	2	6		
	1.50			150	350		
24	2.15	7	7	10	24		
	2.45				300		
33	3.15	9	11	13	33		
	3.45				300		
39	4.15	13	12	14	39		
	4.45				300		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.15	P2-1	⊖			
1.50					
2.15	P2-2	⊖			
2.45					
3.15	P2-3	⊖			
3.45					
4.15	P2-4	⊖			11/1
4.45					
					11/2